

単元名	季節の言葉1	配当時間	2時間
単元の目標	(1) 語句と語句との関係について理解し、語彙を豊かにするとともに、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。 (2) 目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。 (3) 季節を表す語彙を豊かにし、表現の意図に応じて言葉を吟味しながら、俳句や短歌を作ろうとする。		

標準的な展開例

06010106\_001

【教材名】春のいぶき (P. 38～P. 39)

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 春から夏へと向かっていく暦を表す言葉やその意味を知り、言葉のもつ語感や使い方に対する感覚に関心をもつ。</p> <p>★身の回りで感じる「春」を俳句や短歌で表そう。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○「春のいぶき」という言葉からイメージするものを発表する。</li><li>○身の回りで感じた「春」を交流する。</li></ul> <p>○教科書で示されている二十四節気、短歌、俳句を声に出して読むことで、春から夏へと向かっていく暦を表す言葉やその意味を知る。</p> <p>2 自分が感じる春について一つ取り上げ、俳句や短歌の形式に表して書き、グループで読み合う。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○俳句や短歌の形式や決まりを確かめる。</li><li>○自分の感じる春が表れるような言葉を選んで俳句や短歌を作る。</li></ul> <p>○書いた作品をグループで読み合う。</p> <p>○感想を交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・五感を働かせて、春と感じるものを発表させる。</li><li>・教科書 (P. 38～39) の写真を使い、その言葉へのイメージをもたせる。</li></ul> <p>【評】 季節を表す言葉を知ることを通して、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる「知識・技能」を評価する。</p> <p>【評】 俳句や短歌を作ることを通して、季節を表す言葉に関心をもつ「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>【評】 俳句や短歌を作ることを通して、伝えたいことを明確にする「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・語感や言葉の使い方、選び方など、表現の工夫に着目して感想を伝え合うようにさせる。</li></ul>

【 備 考 】